

南九州市新庁舎建設検討委員会 会議録

会 議 名	第 5 回 南九州市新庁舎建設検討委員会	
日 時	令和 3 年 1 0 月 5 日（火）午前 9 時 00 分～午後 12 時 00 分	
会 場	ちらん夢郷館 3 階 多目的ホール	
出 席 者	委員	鯨坂委員長，中村委員，田中委員，森田委員，大隣委員，深町委員，篠原委員，池田委員，伊瀬知委員，原口委員，大迫委員，霜出委員，松崎委員，方違委員，古市委員，川口委員
	事務局	新庁舎建設推進課 平山課長，池田係長，尾辻主任主査
	委託事業者	ランドブレイン（株）（以下，LB）：岩切（現地），大蔵・大津・青山・織田（WEB） （株）安井建築設計事務所（以下，YA）：南浦，池上（現地），米丸，長崎，粉川（WEB）
協 議	<p>(1) 第 4 回検討委員会の議事要旨の承認等について</p> <p>(2) 航空写真で見る建設予定地及び周辺の分析</p> <p>(3) 新庁舎規模の設定について</p> <p>(4) 駐車場規模の設定について</p> <p>(5) 基本構想（案）について</p> <p>(6) その他</p>	
会議結果要旨	<p>(1) 第 4 回検討委員会の議事要旨を承認。</p> <p>(2) 航空写真から建設予定地周辺の開発変遷を踏まえ，庁舎の建設には景観等に配慮していくことが重要とした。</p> <p>(3) 新庁舎の規模について参加する各委員より意見を聴取し，その妥当性を検討。挙手による採決により，「7000～7500 m²とする」が 10 名，「もう少し減らすべき」が 5 名となったため，委員会として「7000～7500 m²」と提言することとした。 ただし，全員賛成ではないことから，次回執務スペースの面積については補足説明等を求めた。</p> <p>(4) 駐車場規模の設定について，すべてをアスファルト舗装するのではなく，砂利のスペース，芝生広場などの併設による緑地化などによる市民に親しみやすい場所として計画することとして，駐車場規模の設定は 500 台で承認した。</p>	

	<p>(5) 基本構想(案)について、南九州市の抱えている課題の部分(人口減、公共交通、景観、産業、防災、市政運営)についても記載すべきであるなどの意見が出された。</p> <p>内容を含め量も多いことから、意見がある場合は次回までに連絡することとした。</p> <p>(6) その他</p> <p>市民アンケート結果、第1回市民ワークショップの開催結果について、速報値等が報告された。</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>(事務局)</p> <p>まず会議に入る前に、本日は傍聴者が1名来られているが、新庁舎建設検討委員会運営指針第2条に基づき、本日の会議を公開することとしてよろしいかお諮りいただきたい。</p> <p>(委員長)</p> <p>ただいま説明があったように傍聴者が来られている関係で、本日の会議は公開するという事によろしいか。</p> <p>(「はい」と呼ぶ声あり)</p> <p>可決されたので、本日の会議は公開する。</p> <p>1. 開会</p> <p>(事務局)</p> <p>配布資料について確認する。</p> <p>また、池田委員は、本日、遅れて参加するとの連絡をいただいている。</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>(委員長)</p> <p>第5回南九州市新庁舎建設検討委員会を開会する。</p> <p>(委員)</p> <p>協議に入る前に、以前川辺地区で議員主催の説明会の関係で、議員を通して意見書が提出されていたかと思うが、その内容を教えてほしい。</p> <p>(事務局)</p> <p>議員の方々が話し合いを持たれたという事は伺っているが、意見</p>

書としてはいただいてはいない。

(委員)

それは間違いないか。

(事務局)

間違いない。

(委員長)

これより協議に入る。

3. 協議

(1) 第4回検討委員会の議事要旨の承認等について

(委員長)

第4回検討委員会の議事要旨について、事務局へ説明を求める。

(事務局)

第4回検討委員会の議事要旨を説明する。

第4回検討委員会の議事録の補足として、「(6) その他」の中で、議会の動きが全く分からない状況にあるとの質疑に対し、事務局より9月の時点で合併新市基本計画変更議案を提案しているところがあるが、これについての結果として、9月議会にて提案の方が可決されたことを報告する。

(委員長)

第4回検討委員会の議事要旨の説明について意見・質問を求める。

(委員)

9月議会で可決されたと説明があったが、どのくらい的人数が賛成だったのか。どのような議論があったのかなどを教えてほしい。

(事務局)

賛成多数で可決されたとは聞いているが、人数までは把握できていない。また、この合併新市基本計画変更議案の中には、検討委員会からの提言を基に定めた方針に基づき建設整備を進めていくという一文も含まれている。その他の内容として、合併推進債を活用できるといったことなどについても変更という形になっている。

(委員)

可否の人数が分からないというのは、事務局長はその場に出席していなかったのか。

(事務局長)

私も議会には参加していたが、私の方では人数を数えてはいないので把握していないということである。

(委員)

可決についてはわかったが、どのような議論があったのか報告してもらいたい。

(委員長)

ネットの方で議会の記録が出るかと思うがどうか。

(事務局長)

9月議会の場合、2か月後の11月後半から12月頃にかけて会議録が出来上がり、公開されると聞いている。

(委員長)

少し時間が掛かるので、今回の委員会で議論する上で関係することがあれば説明いただき、なければ公開されるものを見ていただくことでどうか。

(事務局長)

私としても全てを記憶しているわけではないが、この改正はまだ後でも良いのではないかという意見があったかと記憶している。

(委員長)

では、内容については後日公開されるものを見ていただくということでお願いしたい。

では、第4回の議事要旨については承認いただいたということで次に進みたい。

(2) 航空写真で見る建設予定地及び周辺分析

(委員長)

航空写真で見る建設予定地及び周辺分析について、事務局から説明を求める。

(事務局)

詳しい説明については委託事業者より説明を求める。

(YA)

航空写真で見る建設予定地及び周辺分析について、資料1に基づき説明をする。

(委員長)

航空写真で見る建設予定地及び周辺の分析について意見・質問を
求める。

(委員)

建設予定地は市の所有地になっているのか。

(事務局)

平成 19 年に知覧町が国から払い下げを受けている。

(委員)

この周辺で他には市有地はないのか。

(事務局)

この周辺だと平和公園周辺のみかと思う。

(委員)

庁舎の経費の事で伺いたい。前回の会議の中でエレベーターを廃
止した方が経費の削減になるとの意見があったが、エレベーターは
必要かと思う。なぜなら障害手帳を持っている方が市内で 2000 人
以上いるということなので、エレベーターは絶対に必要だと思う

(委員長)

後にも議論があるかと思うので、意見として承る。

(委員)

航空写真、鳥瞰図を見てイメージは沸いた。動線・景観を考慮し
て建設していくかと思うが、いかにコンパクトで見栄えのする庁舎
にするか、計画していつてもらいたいと思う。

(委員長)

説明の中で景観重要地区とあったが、この地域の方針はまだ出
ていないのか。

(事務局)

現在ワークショップなどで意見を聞いて検討しているところで、
今年度末までに取りまとめることになるかと思う。

(委員長)

計画地付近は、スプロール化が進んでおり、まちづくりとしては
好ましくない状況である。

庁舎を建設すると同時に景観に配慮していくことが重要なのでは
ないかと考える。

他に意見・質問がないようなので次に進みたい。

(3) 新庁舎規模の設定について

(委員長)

新庁舎規模の設定について事務局に説明を求める。

(事務局)

新庁舎規模の設定について説明する。

平成 29 年の検討委員会で 7000～8000 m²としていたが、本年の市民説明会等で想定規模として 7000 m²と試算して説明した。また、職員数についても、350 人から 346 人に修正し、国の基準等 5 つの算定方法を基に面積を算出している。

(委員長)

新庁舎規模の設定について意見・質問を求める。

(委員)

積算の数字が出てきてなるほどと思うが、前提となる職員数 346 人に疑問がある。令和 10 年の人口に基づいた職員数かと思うが、例えば 25～30 年後の人口規模に見合った職員数に対して積算するという形にはできないのだろうか。また、その結果職員が溢れてしまうというのであれば、知覧庁舎も支所として利用し分散すれば 346 人という数字が小さくなって、建物の面積も小さく出来るのではないかと思う。また、知覧まち自体の空洞化というのも低減されるのではないかと思う。

(委員長)

ただ今の意見は、職員の人数をもう一度確認したいということと、知覧庁舎を窓口として使うことによって面積の削減ができるのではないかという二点があったかと思うが、事務局の方から可能な範囲で回答をお願いしたい。

(事務局)

知覧庁舎を支所として使う事に関しては、市としては考えていない。まず、この新庁舎というのは、組織を集約したいという考えからのものであることから、今の知覧庁舎を一部支所として使うことは想定していない。また職員数については定員適正化計画等で計画した人数に基づいて設定しているので、この 346 人で計算していきたいと考えている。その他に、市としては作業部会を立ち上げ、書庫、会議室、議場等の削減の検討や、今後の DX 等に向けた電算機器などのスペース等も、どのような形にしていくのかの検討も行って

いる。執務室についても、一部の市では、一人当たりの執務面積の平均が 7.1 m²のところ、南九州市では今のところ 6.5 m²で想定していきたいと考えている。このようにいろいろと工夫しながら全体面積の削減に取り組んでいる事をご理解いただきたい。

(委員)

人口も減っていき、将来の負担にもなる。人口ベースでの規模面積を考えるべきだと思う。今は令和 10 年に基準を置いて作るということだが、積算の根拠とする職員数をもう少し減らした上での検討というのはできないものか。

(委員長)

前にいただいた資料で、人口の推計値は 2040 年まで出ていたが、職員の人数については平成 29 年（2017 年）までの想定でしか出ていなかった。今の質問は、もう少し先まで見据えた数を考えても良いのではないかというご指摘かと思うのだが、その点について検討した資料等はあるのか。

(事務局)

職員の人数については、10 年毎のスパンで計画を立てているということで、それ以上の検討資料は今のところない。

(委員)

委員長に伺いたい。通常このような建物を建てる時に、将来的な年数などはどこを基準に設計するものなのか。

(委員長)

一般的には想定出来る 10 年後を考えて建てているケースが多いかと思う。それ以上先は日本がどうなるのかも読めないところもあるので、10 年後を見据えて建てている状況が多いかと思う。

一方で、今年 4 月に発表されたのだが、建物の耐用年数の考え方も変わってきていて、建物の寿命も長くなってきている中で、20 年後、30 年後ともっと長期スパンで想定する考えもあるかと思う。私の個人的意見だが、先ほどの意見にもあったように、10 年間くらいは現庁舎を半分使いながら、20 年後に人口をみて、もう少し減るだろうからそれに合わせて建てるという考え方をこの委員会でも提言しても良いかと思う。

(委員)

いろいろな方の意見をいただくという意味で、委員長が良いと思

った意見を皆さんはどう思いますかと促していただけると皆さんも意見が言いやすいかと思う。

(委員長)

市民から見ればこの委員会は市民側に立って行われた形になるが、規模の問題は非常に難しい。小さく建てれば予算も少なくなるわけだが、10年経っても集約されず、市の効率化が進まなくて、逆に税金を使ってしまうことになることもあり、また職員にしてみれば働きにくい環境が10年20年と続いてしまうことにもなるので、そういった点も考えて皆さんに意見交換をお願いしたい。

(委員)

使えるところは使った方が良くと思うが、3町それぞれ分庁方式でやってきて、これを維持するにはすごくお金がかかると思うので集約した方が良く思う。それと、先日南さつま市役所に行ったのだが、凄く明るくて使いやすいと感じた。

(委員)

執務室の面積が6.5㎡、大体4畳半くらい。これからデジタル化が進んでいく中でそんなに必要ないのではないか。書庫などは電子化により書類も減らせるし、フリーアドレス化などでも良いと思う。

(事務局)

6.5㎡が広いか狭いかの回答は難しいが、机に関しては、長机を設置してフリーアドレスにする話も出てきているとは聞いている。部署によって配置を臨機応変に対応していきたいとは考えている。

(YA)

庁舎の規模については難しいところではあるが、様々なケースを見据えて検討し、判断していかなくてはと思っている。

現状を分析させていただいたところ、6.5㎡より少し狭い状況となっている。やはりある程度の執務の効率化を図るのであれば、今のトレンド、座席間隔を確保しつつ計画するべきではないかということが一点。庁舎規模に関しては、集約化することで効率化が図られるということもあるが、人口の増減に対する対応ということも考えなければいけない。例えば、建物の改修の容易性、人口が減った場合には余剰となった執務室を市民の方々に使ってもらえるように変えられる、増えた時には会議室等を執務室に変えられる、という

ような改修が容易にできる構造体にしておくことなど工夫を踏まえながら計画していく事が重要だと考えている。

(委員長)

今の庁舎は一人当たり何㎡となっているのか。

(YA)

一人当たり約 5.7 ㎡と試算している。

(委員長)

受付や廊下も入れてということか。

(YA)

窓口カウンターから内側の面積となっている。

(委員)

私が勤めていた会社でも 20 年前からフリーアドレス化をしていた。できる部署とできない部署もあるが、できる部署では導入していくべきだと思う。

(委員)

コンパクト庁舎としての規模設定については大いに賛成する。6.5 ㎡の執務室の面積についても、かなり絞り込んで計算されたものだと感じている。そういう目線で考えると、この規模で良いのではないかと思う。職員数についても、10 年先の職員数を考えて新しい庁舎を作ることなので、それが一番ベターな考え方かと思う。先ほどの意見も踏まえてもう少し切り詰めていく事も考えられるが、計算では 7.0 ㎡、最終的には 6.5 ㎡となっているので、この考え方で良いのではないかと思う。

(委員)

人口減少の対応については必要だと思う。指宿市役所は 50 年前の建物だが明るくてきれいである。最近行ったらトイレもきれいになっていた。新庁舎も明るくて利便性があって、職員も仕事しやすい庁舎にすべきだが、全てを盛り込んでいくとコストも高くなってしまう。身の丈に合ったというのは人口減少も見越した作り方もできるのではないかと思う。担当の方が言われたように、もしも余剰の部分が出てきたらフレキシブルに対応するとのことだが、空いてしまった部分を有効活用するのは中々難しいと思うので、さきほどの意見のように柔軟な対応でもう少し人数を絞っても良いのではないかと思う。専門家の方が話し合っって素晴らしい基準を作って示して

くれたとは思いますが、現実にはコストが掛かるのではないかと思うので、人数を少なめに見て、将来に負債が残らないようにしていくのも賢い選択ではないかと思う。

(委員長)

今日の会議で面積規模を決めたいと思うのだが、どのくらいが良いか。

(委員)

職員数 346 人の中には非正規の方も含まれているとのことだが、この町に住んで、結婚して、子供を育てていくという点では、南九州市に愛着を持った一人の若者なのだとすることで、正規にしていくという方向性が大事だと思う。正規にしていくためには、明確に 10 年後には減るかもしれないという数、基準があるのかは知らないが、例えば職員の数が人口 1 万人に対して 100 人とか 3 万人なら 300 人くらいの漠然とした数字を出して、それが例えば 20 年後の人口に見合う数として、ある程度合致するのであれば、そういう方向性を取った規模というものを、事業者の方に努力頂いて工夫できないかと思う。

(委員)

二点ほど確認したい。コンパクトにすることは大切だと思うが、実際に働いている方たちはどのように感じているのか。庁舎の中にも検討委員会があると聞いている。私たちは庁舎に訪れる側でしかないので、職員の方の意見があるのならそれも反映して規模を決めた方が良いのではないか。

もう一点は先程の鳥瞰図の 3D は 7000～7500 m²に合わせて作られているという認識で良いか。

(事務局)

職員アンケート等の結果を見ても、現在の 3 庁舎ともスペースが狭いという回答が多い。また収納、打ち合わせスペースがないという意見も多く出ている。

鳥瞰図は想定規模の 7000 m²～7500 m²面積で作られている。

あと、少し補足をさせていただくと、職員数が減っていくというのはおっしゃる通りだと思う。先程フレキシブルに対応する時に空きが出てから考えるのでは難しいとの意見があったが、これから考えていく時に、規模の基準というのはどうしても必要になるが、30

年後、50年後に庁舎がどうなっていくのかということ想定した中で職員と話し合っ設計をしていかなければと感じている。皆さん大変貴重な意見をありがとうございます。

(委員)

今の時点で狭いと感じていて、打ち合わせスペースがないなどの意見も出てきているので、今回の6.5㎡で考えてみて、実質自分のスペースは今と同じ5.7㎡くらいで、残りの部分を打ち合わせスペースなどにできないのかとっていたので、コンパクトにした庁舎の想定規模の中で少し前後するくらいで良いのかなと思う。

(委員長)

私の意見で職員の方には申し訳ないが、5.7㎡で仕事ができないということではないので、そこがポイントだと思う。これはあまり議論しない方が良いと思うが、デジタル庁ができて、行政文書が全てデジタル化されると、一般的にはノンテリトリアルオフィスとかフリーアドレスという言い方であるが、これを取り入れることにより民間企業の場合はスペースが三割以上減ることになる。もしもデジタル化が進んでいけば5.7㎡でもかなり広いスペースになる可能性があるが、これはまだどうなるか分からない。この委員会でのどのくらいものを目指すかが非常に重要なポイントとなるが、大体今示されている6.5㎡くらいでよろしいか。

(委員)

レイアウトや使い方次第だと思うが、6.5㎡より増えるはないと思う。6.5㎡より減るにしても、色々考えると難しいかと思う。

(委員)

私達の団体に協議をする時も、会場がなかなか見つからず、会議の後に数人で話し合いをする時にも場所を確保できないというのが現状である。人口が減っていく10年後20年後は誰も分からないとは思いますが、なるべくコンパクトに安くあげたいという気持ちはあるが、現在使いやすいスペースが取れば良いと思う。現状5.7㎡だが、他の庁舎では7㎡とあるので、私としては6.5㎡が良いと思う。

(委員長)

皆さんは今難しい選択に迫られている。昔の庁舎はデジタル庁ができる前の事例なので、昔のままの数値でいくのか、将来を見据え

て少し減らしていくのか，ということがこの委員会から提言として出ていくので，皆さんに意見を出していただいて，慎重に協議いただければと思う。

(委員)

身近な環境で7500㎡と同等の大きさの建物は何かあるか。またこの広さで建てた場合に2階建てと3階建てでの費用の違いはどの程度あるのか。

(YA)

同等の規模の建物というのがこの周辺だと分からない。2階建てと3階建てではどちらの方が効率が良いかというと，一長一短あるが，例えば3階建てにすると当然，トイレ，階段，エレベーターの数が増える分コストが大きくなる。2階建てにした場合は，基礎や杭といったものが，非常に地盤が悪い場合にはコストが大きくなる。「高層」と「低層」の比較だと，高層化した方が工事費が安くなることがあるが，2階建てと3階建ての比較では，これからの検討にもよるものと考えている。一般的には低層にする方が法令的な要件も緩和されるので，コスト的にはインパクトが少なくなっていくという傾向がある。

(委員長)

海際だと広げると地盤が悪くてコストが高くなるが，今回は台地の上なのであまり変わらないかも知れない。

(委員)

資料の最後のページの上の段に，すべての必要な機能をいれて7394㎡と書いてあるが，この②の議会関係の630㎡という数字の出し方の説明のところに，「現状では委員会室が1室しかなく，議会運営に少なからず影響があることから」と書いてあるが，私の経験から，合併新市になった後に議会運営に少なからず影響があったことはない。他の会議室などを使いながら議会の運営はできていた。これまでの話の中でも出ているように，人口減少する中で，議員の数も議会の中で当然検討していかなければということになり，数が減っていくと，現在3つの常任委員会があるが，他市だと2つの常任委員会になったりするところもある。相対的な予算の話で職員の執務室の一人当たりの面積も出ていることから，議会についてもこの630㎡という数字がどのような積算で出てきたのかということ

当局の方にはしっかりと意見を出していった方が良いかと思う。ちなみに資料に委員会室が1室しかないと書いてあるが、主だった執行部の会議等もこの委員会室を利用しながら開くことも多く、その他に例えば運営協議会等の会議もこの部屋を使うこともある。また広報紙などでよく見る協定締結等の写真撮影の際の背景としてパネルが設置されており、多方面で委員会室を利用されていて、今のところは議会の上で支障をきたしているという現状はないと思うので、皆様の議論の中に入れていただきたいと思う。

(委員長)

先ほどの質問で今調べていただいたところ、指宿市庁舎が5700㎡とのことである。指宿市の庁舎よりも少し大きくなるかと思う。

議会関係の630㎡というのは前に説明があったかと思うが事務局に再度説明を求める。

(事務局)

この議会の想定している630㎡は、議場、議長・副議長室、議員控室、議会事務局、常任委員会の会議室を3つ設けた場合で現在は想定している。ただ、このことについても議会事務局にどのような形が良いのか検討してもらうように相談しているところである。委員の意見のように行政側の会議室も兼ねたパターンも出てくるのではないかと考えている。

(委員長)

他にご意見を言っていない方で一言でもお願いしたい。

(委員)

2040年には市の人口が1万人は減っていく想定の中で、職員数346人というのが疑問に思う。議会の部分についても人口が減っていく中で、何故規模が増えていくのか疑問に思うので、7394㎡という算定ではちょっと広いのかなと思う。

(委員)

面積については非常に難しい判断になるかと思う。長期的な事を考えればコンパクトにということも当然あるが、現実があって、それが徐々に移行していく中で、なかなか思うようにいかないのかなと思う。ただ、例えば自分の家を建てる時に、将来子供たちは出ていくのだから、2人で住める家を建てようというわけにはいかないのだから、それと同じよう現状に合わせて、後々空きスペースになっ

たら、有効利用する方策を考えた面積設定が良いと思う。

(委員)

コンパクトな庁舎というのには賛成だが、身の丈に合ったというのはどういうことなのかと考えていた。余ったスペースに診療所などテナントを入れて収入にすることはできないのかなと思った。

(委員長)

もし空きスペースが出来たら、市役所をどこかに貸して税金の足しにできないかという意見かと思うがどうか。

(事務局)

意見を聞きながら取り入れていけると思う。

(委員長)

提案のあった7000～7500㎡かもう少し減らすべきかの決を取りたい。

(挙手により採決)

7000～7500㎡が10名、もう少し減らすべきが5名

委員会としては議論した結果、7000～7500㎡で提言したい。

(委員)

先程の事務局からの話で、職員に意見を聞いたら狭いという意見があったというが、ただ狭いではなくてどのように狭いと言っているのか調査したのか。次回で良いので回答をお願いしたい。

(委員長)

全員賛成とはならなかったので次回補足説明してほしい。

(事務局)

職員の意見は職員アンケートの結果である。庁内検討委員会の報告として第3回委員会資料に記載している。

(委員長)

執務スペースの面積については記載がないので、次回執務スペースがどのように狭いと言われているかを回答頂ければと思う。

(4) 駐車場規模の設定について

(委員長)

駐車場規模の設定について、事務局より説明を求める。

(事務局)

駐車場規模の設定について説明する。

前回までの 800 台から今回新たに 500 台とした。

(委員長)

駐車場規模の設定について、意見・質問を求める。

(委員)

来客駐車場について、90 台になった理由が明確に分からない。窓口調査で最大来庁者数が 60 人だとしたら多くても 70 台くらいで良いのではないか。もしくは多めにしておいて、休みの日などに駐車場でマルシェなどを行うスペースになったりするのであれば、このくらいの広さでも良いのかと思う。

(事務局)

今日の様な会議などがあると 20~30 人程来られる事を想定して 90 台と設定されている。職員駐車場についても、議会などがある場合にはこのスペースを利用すること、どうしても足りない場合は隣にある消防署等を使用する事も想定している。

(委員長)

500 台の駐車場のイメージが湧かない。川辺にある A-Z (スーパー) はどれくらいなのか。どこかイメージ出来るところがあると分かりやすい。それでも大分絞っていただいたと思う。

(委員)

現在の知覧庁舎の駐車場は何台なのか。

(事務局)

33 台くらいだったかと思う。

(委員)

知覧町は駐車場が少なく、祭りや国体などイベントがあるとグラウンドなどにも駐車場ができるが、それでも少ないと思うので多い方が良いかと思う。

(委員)

800 台から 500 台に減って驚いたが、もっと減らすことも出来るのではと思ってしまう。自動車通勤の距離基準はあるのか。徒歩、自転車通勤の職員はどの程度いるのか。

また考え方によって随分と違うと思うが、広々と駐車場があり、イベントの時に使ったら良いという考え方には賛同しかねる部分がある。あくまでも駐車場は駐車場で、駐車場として優先的に使うが、余地があったとしたら使わせてもらう程度である方が良い。来

客用の駐車場もテレワークとか支所で済む場合もあるのでそんなに必要ないのではと思う。500台からもっと減らせるのではないか。

(事務局)

現時点で職員の通勤距離に応じた制限は実施していない。また、徒歩、自転車通勤の人数については調査を実施したことがないので分からない。

(委員)

敷地規模に対して500台で進めていって良いかと思う。

(委員)

500台で妥当かと思う。アスファルトだけではなく砂利のスペースなどもあって良いと思う。

(委員長)

因みに500台というのは平面で取れるのか。

(事務局)

500台なら平面で入るという認識で大丈夫かと思う。

(委員)

建物と駐車場だけで、広場などは整備しないのか。駐車場はなるべく少なくして、緑地化などをして市民に親しみやすい場所にしても良いのではないかと思う。

(委員長)

平面で作るという事はその様なスペースを基本設計の中で変更していくことも可能なのでそういう考え方でどうか。

それでは、駐車場規模の設定については500台ということで承認してよろしいか。

(異議なし)

承認されたという事で次の議題に進みたい。

(5) 基本構想(案)について

(委員長)

基本構想(案)について、事務局に説明を求める。

(事務局)

基本構想(案)について説明する。

(委員長)

基本構想(案)について質問・意見を求める。

(委員)

2点ある。5ページの③財政上の課題の最後の部分で、財政構造の見直し、メリハリのある投資が必要とあるが、メリハリのある投資とは何か。もう1点、テレビ会議システムがすぐに実施出来ない不便さが生じているとあるが、どうしてそのようなことが起きているのかが疑問である。回答は次回でよい。

(委員)

大きな流れは理解できるのだが、良いことばかり書いてあり、南九州市の抱えている問題の部分も見えるようにしてもらいたい。

(委員長)

人口減の事とか公共交通、景観の課題についても盛り込んだ方が良いのではと思う。

(委員)

前回、市長に話していただいたが、そういう取り組みなどが初めに入るのか。それと新しい庁舎を作るということの中に、財政的な側面の話だけではなく、まちづくりの心を入れていかなければいけないと思っている。市長の話の中で、南九州市の課題に産業振興、防災強化、まちづくりの拠点などのキーワードが入っている。庁舎建設の課題ということだけではなく、南九州市の市政運営の根本について序章部分には是非記載してはどうかと思う。

(事務局)

只今の意見について、検討しながら盛り込んでいきたいと思う。

(委員長)

量も多いので大きな流れを確認いただきたい。次回までに意見をいただくことでよろしいか。

(6) その他について

(委員長)

その他について市民アンケート結果について説明を求める。

(事務局)

市民アンケート結果について集計がまだ終わっていないため速報値を報告する。

第1回の市民ワークショップの開催の結果について説明する。

参加人数は19名。

	<p>(委員長)</p> <p>市民アンケート・ワークショップの報告について質問・意見を求める。</p> <p>今回は速報値及び概要であったが、次回の委員会の前までにまとめて貰えると有難いと思う。</p> <p>4. その他</p> <p>(委員長)</p> <p>次回の検討委員会の予定について、事務局に調整を求める。</p> <p>(事務局)</p> <p>第6回を11月2週目で調整させてほしい。</p> <p>(委員長)</p> <p>次回第6回の検討委員会の実施日を、11月12日(金)午前9時を候補として検討を事務局に願います。</p> <p>(委員)</p> <p>要望だが、私の周りでも状況をあまり知らない、関心のない方も結構いるので、市民説明会を大々的ではなくていいので、こまめに開催する事はできないのか。それとワークショップの参加者が少ないと感じたので、もっと沢山の方に参加いただけるように呼びかけなどをお願いしたい。</p> <p>5. 閉会</p> <p>(事務局)</p> <p>第5回南九州市新庁舎建設検討委員会を閉会する。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>次回検討委員会の開催予定</p> <p>日時：令和3年11月12日(金) 9:00～</p> <p>場所：未定(オンライン対応も準備)</p>
<p>会議録署名欄</p>	<p>_____</p>